**第７０回観察会　2009年１月19日(木) 12:05～12:55　晴れ**

**テーマ『植物園内の冬鳥たち』**

**☆ガイドレポート**

観察会当日は天候も良く、鳥の観察にはもってこいでした。

鳥の観察会では、目についた鳥を順に双眼鏡を使って観察したり、ガイドの人に望遠鏡で見せてもらいながら説明を聞くというのが一般的ですが、今回は双眼鏡を使わず、肉眼と耳を使っての観察会にしてみました。これは、植物等と異なり、参加者全員がじっくり対象を観察することができない事に対する苦肉の策ではあったのですが、一方では、特別な道具なしで鳥の存在を感じ取る機会を設けたいという気持ちもあったのです。

残念ながら沢山の種類は出現しなかったのですが、その分、対象に選んだヒヨドリと、偶然に参加者の周囲に集って来たイカルの2種をじっくり観察する事ができて結果的には良かったと思います。ただ、2種ともに京都では一年中見られる鳥だったので、観察会のテーマである冬鳥をうまく観察対象にできなかったのが残念でした。

観察できたヒヨドリやイカルも、声は聞けたものの、姿は遠くから眺める事しかできなかったし、他の鳥達を観察する機会も設けなかったので、物足りなさを感じた方も多かった事と思います。物足りなく感じた方には申し訳なかったのですが、その「物足りなさ」こそが、もっと鳥を知りたくなる原動力になる、と思ってお許しいただければ幸いです。

ある鳥の声を意識して聞いただけで、その主の姿を見たくなってしまったり、名前を知りたくなってしまう「ヒト」というのは本当に興味深い生き物だなぁと思います。

観察会の時と同じ様に、ほんの1分間でも窓の外の音に耳を澄ませていただければ、町中でも、きっと色々な鳥の声が耳に届けられることでしょう。もし「どんな鳥が鳴いているのかなぁ」と思ってもらえたなら、今回の観察会は“成功”だったと言えるでしょう。

たくさんの方にお集りいただき、本当にありがとうございました。機会があったら、またお会いしましょう。

＊当日出会った鳥リスト

* イカル10羽＋
（＋は正確には解らないが、もう少し沢山居たという意味です。）
* ヒヨドリ5羽＋
* シジュウカラ2羽
* シロハラ1羽
* ハシブトガラス1羽（声のみ聞こえる）
* キジバト1羽
* アオジ1羽
* コゲラ1羽

ガイド：梶田学さん（鳥類研究者）

**☆参加者の感想**

* はじめて参加しました。京大の中の植物園に入るのもはじめてでした。木たちの中で気持ちよくすごせましたし、好きな鳥のことも知れてとてもよかったです。ガイドの方もとてもよかったです。
(初めての参加、３０～６０才、京都市内のかた)
* 本日は鳥の声について良くわかりました。ありがとうございました。
(参加１０回以上、３０～６０才、男性、京大近辺のかた)
* 鳴き方が何種類もあるのがよくわかりました。目をつぶって鳴き声をきくとよくわかりました。次の機会を楽しみにいたします。
(参加～５回、６０才以上、女性、京大近辺のかた)
* 分かりやすく参考になった。先ずは聞くことでしょうか？
(初めて参加されたかた)
* 冬どりの声が気になってましたので参加しました。ありがとうございました。
(参加～５・６回、６０才以上、女性、京大近辺のかた)
* ひよどりの声を聞きました。
(参加～５回、男性、京都市外のかた)
* 酸素が多くて空気がおいしかった。
(無記入のかた)
* 鳥たちも会話してる。目をとじて、耳を澄ませばＢＧＭが聞こえる。
(参加～１０回、３０～６０才、女性、京大近辺のかた)
* 久しぶりに鳥の声を聞き、楽しかったです。
(３０～６０才、京大近辺のかた)
* 同じ町内に住んでいますが植物園に入れて頂いたのは始めてです。都会の中で自然がそのまま残されていて、鳥の観察が出来、大変良い経験をさせて頂きました。有難うございました。又参加させて頂きたいです。
(初めての参加、３０～６０才、女性、京大近辺のかた)
* 双眼鏡を使い、時にはスコープを持った人にピントを合わせてもらい、見ることが多いので・・・。今日は一寸かってが違い戸惑いましたが、・・・ありがとうございました。
(初めての参加、３０～６０才、女性、京都市内のかた)
* どんどん名前を教えてくれる探鳥会とちがい、まずじっくり自分の耳で聴き、次によく見て、知っていく、というのが新鮮でおもしろかったです。
(参加１０回以上、３０～６０才、女性、京都市内のかた)
* ふだん植物しか見ていませんでしたが、多くの冬鳥がいるのに驚きました。今回は面白い企画だと思いました。
(参加～１０回、６０才以上、京都市内のかた)
* イカルの姿をちゃんと見たことがない。声との対応はついたので、次は姿をねらう。ヒヨドリ、シジュウカラ、キジバト（？）ハシボソガラス（？）
(３０～６０才、男性、京都市外のかた)
* 庭の鳥を追いかけて、赤い実を食すのをおこっていましたが、これからはじっくり観察します。ありがとう。
(無記入のかた)
* 日頃じっくりさえずりを聞くことがないのでよかった。またお願いします。
(参加～５回、３０～６０才以上、女性、京大近辺のかた)
* ヒヨが解ってよかった。小鳥が居ず残念だった。
(６０才以上、男性、京大近辺のかた)
* ヒヨドリ、イカル、よく声がきこえました。いつも疎水辺り、吉田山等散歩して野鳥にしたしんでいます。
(参加～１０回、６０才以上、京都市外のかた)
* 久し振りに参加しました。「ヒヨドリとイカルだけを聞かせる」という方法に「なるほど」と思いました。感謝
(参加～10回、６０才以上、男性、元京大教員のかた)
* 大変楽しく参加させていただきました。吉田山でいつも見るのですが、何か分からなく、ゆっくり観察することが大切と知りました。
(初めての参加、３０～６０才以上、京大近辺のかた)
* ふだん意識してないけど、いろんな鳥が身の回りにいるんだなあと思いました。鳴き声もいろいろあることをを知りました。
(参加10回以上、１８～３０才、男性、昆虫生態院生のかた)
* 静かにしていると声がよく聞こえた。さまざまな鳥が棲む森や林があることがいい。畑の果樹につく虫が多量発生しました。鳥が食べてくれないかと思うのですが。
(初めての参加、３０～６０才以上、女性、京大近辺のかた)
* 今日はイカルのサエズリだけでなく、地鳴きについても話してくださり、たいへん勉強になりました。イカルのサエズリはよく知っていましたが、地鳴きはイカルの鳴き声とは知りませんでした。
(参加10回以上、１８～３０才、女性、農学部院生のかた)
* おだやかな天候のもと、耳を澄まし、鳥たちの鳴き声を堪能できたことは幸せであった。とくに、イカルのさえずりと地鳴きの聴きくらべは興味深く、わたしにはイカルの「キッコキーキー」（？）が「ちょっとうれしい」とか「ちょっとさびしい」などと聞こえ、たいへん愉快だった。充実したひとときを過ごすことができ、参加してよかった。今週末は、ひとりでどこか探鳥に出かけようと思っている。不満に感じたこともある。「冬鳥」たち、というテーマに惹かれての参加だったが、ヒヨドリとイカルの解説にとどまったのは残念であった。徹底して初心者向けの内容であり、また時間が限られていたことも加わり、物足りない気分が残った。次回は、もうひと工夫加わった探鳥会を期待したい。あるいは、梶田さんを囲んでの一般向けの座学などが企画されれば、お金を払っても参加してみたい。今回のイベントの企画・実行に携わったみなさまに感謝申し上げます。
(初めての参加、３０～６０才、男性、京大図書館職員のかた)
* 双眼鏡を使わない探鳥入門は、静かに森に耳をこらすことから始まりました。普段から聞こえているはずなのに、認識されていない音の多いことに気付かされ、ショックを受けています。これまでの自分は、鳥や他のさまざまな生き物の声から耳を塞いで歩いてきたようなものだと思いました。これを機会に、音の世界に目覚めていきたいです。
(参加10回以上、１８～３０才、男性、京大こころの未来研究センター研究職員のかた)